

令和6年

日時

10/19 | 土 | 20 | 日 |

会場

岐阜県庁
20階「清流ロビー」
岐阜市藪田南2-1-1入場無料
要事前申込

ダンスパフォーマンス

Rinne

ひびのこづえ × 牟田のどか × 貝ヶ石奈美 × 川瀬浩介



「Rinne」写真：出口敬行

巨大な魚が現れ海に誘う。
海藻が波に揺れ、エビや夜光虫が戯れる。
もっと目を凝らすと小さなプランクトンが漂い、
それはいつか宇宙へと広がっていく。
海から広がり生まれたひびのこづえの不思議な衣装と、
川瀬浩介の歌を軸とした音楽に合わせて、
2人のキュートなダンサー、
牟田のどかと貝ヶ石奈美が踊る。

ダンスパフォーマンス&アフタートーク

時間 19日 | 土 | 16:00 - 17:15 (定員 各日200名)
20日 | 日 | 14:00 - 15:15

PROFILE

パフォーマー / 牟田のどか

ダンサーとして国内外の公演に参加するほか、インスタレーション、映像、ジュエリーなど多様な作品制作を行っている。近年の共演、出演に夏木マリ、土屋太鳳、中村佳穂、BALLY、AUDI、JNBY、Amazonなど。
2021年石川慶監督映画『Arc アーク』出演。
2023年吉村元希監督映画『オンナのカタチ』主演。
2023年印象派néo『ピノキオの偉烈』国内外ツアー公演出演。中之条ビエンナーレ2023参加。



パフォーマー / 貝ヶ石奈美

ワグノワバレエアカデミー、ルードラベジャールで学ぶ。卒業後、ベジャールバレエ団、イタリアヴィンツァバレエ団等で踊る。13年よりNYを拠点にフリーでコンテンポラリーダンサーとして活動。帰国後は東京を拠点に、ジュリー・アン・スタンザック、ピチュ・クランチェン、遠藤康行、安藤洋子、ひびのこづえなどの作品に出演。23年には野田秀樹率いるNODA・MAPに参加するなどジャンルを超えて活動中。18年よりダンスプロジェクトNorocを結成、作品の創作を通して身体の可能性を模索している。



写真：André van Rensburg

音楽 / 川瀬浩介 作曲家・美術家

1970年 京都生まれ 東京育ち 02年、《Long Autumn Sweet Thing》を発表し美術家としてデビュー。10年、第13回文化庁メディア芸術祭に代表作《ベアリング・グロックン II》が展覧され話題に。森山開次《サーカス》の音楽を担当。「あなたの心に眠る感動を呼び覚ますこと——それが私の使命です」



衣装 / ひびのこづえ コスチュームアーティスト

静岡県生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。コスチュームアーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。1997年作家名を内藤こづえより改める。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当中。2024年野田秀樹作・演出の舞台「正三角関係」衣装担当。奥能登国際芸術祭2023参加。8/2,3「UP AND DOWN」サラマンカホールにて上演。「TYM traveling your memory」をはじめとするダンスパフォーマンスを多数展開中。珠洲応援ダンスプロジェクト発足。

ワークショップ
ちいさな生きものブローチ作り

ひびのこづえが舞台やテレビの仕事で衣装を作ったときに残ったきれいな生地や衣装の断片を使って、きれいな色の糸でチクチク縫いながら、ちいさな生きものブローチを作ります。絵を描くことや縫い物が苦手でも大丈夫です。

時間 | 19日 | 土 | 13:00 - 15:30 20日 | 日 | 10:00 - 12:30

対象 | 4歳から大人まで(小学生以下は保護者も参加。付き添いのみの参加はNG)

持ち物 | 筆記用具、色鉛筆、ハサミ(できれば布用)

定員
各日50名要・事前
申し込み

事前予約制になっております。1人でも多くの方に参加・体験いただくために、参加の可否に関しては事務局よりご連絡いたします。また、キャンセルが発生した場合、事務局から改めてご連絡させていただきます。WEBまたはFAXでお申し込みください。



WEB

WEBでの
申し込みはこちら

アートラボぎふONLINE内、各プログラムページからお申し込みください。



FAX

住所・郵便番号、氏名(ふりがな)、電話番号、およびその他参加者氏名(ふりがな)を記入ください。

日本イベント企画(株)内 アートラボぎふ事務局

0584-71-6130

主催 | 岐阜県・公益財団法人岐阜県教育文化財団
問合せ先 | アートラボぎふ事務局[日本イベント企画(株)内]
TEL : 0584-71-6133(平日9:00-17:00)

Eメール : artlabgifu@ne-planning.com



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
ともに・つなぐ・みらいへ ~清流文化の創造~
2024年10月14日(月・祝) - 11月24日(日)





芸術文化シンポジウム

— アートを楽しむ —

令和6年
日時 **11/4** | 月 | 振休 14:00 – 16:15
(開場:13:00)
会場 岐阜県庁1階「ミナモホール」
岐阜市藪田南2-1-1

入場無料

定員400名
要事前申込

基調講演

世界は色彩に満ちている

千住 博氏 日本画家、日本芸術院会員
第4回ぎふ美術展審査員

芸術作品は「世界表現」だ。
私たちはこのような世界に生きている、
という「私たちは」という人称に立つ発想法だ。「私は」ではない。
もし芸術が個人的な心のうちの吐露、
いわば自己表現、自己主張の機会だとすると、
つまるところ、他人に理解されなくてもよいという話になる。
それでは矛盾が生まれる。見せたり、聞かせたりする意味性が消失する。
そのようなことを、古今のさまざまな例から考えてみたい。

千住
博氏



写真：三戸建秀

宮田
亮平氏



四方
幸子氏



写真：新津保建秀

神戸
峰男氏



パネルディスカッション

アートを楽しむ

岐阜県が行っている全国規模の公募展「Art Award IN THE CUBE (AAIC)」や、県民に広く発表機会を提供する「ぎふ美術展」の審査員を務めたアート界の巨人たちが、アートの楽しみ方や岐阜の芸術文化の魅力、今後の世界におけるアートの行方などについて楽しく、縦横無尽に語り合います。芸術の秋のひとつきを是非ご堪能ください。

千住 博氏
日本画家、日本芸術院会員
第4回ぎふ美術展審査員

宮田 亮平氏
金工作家、日本芸術院会員
文化庁前長官
第4回ぎふ美術展審査員

四方 幸子氏
キュレーター、批評家
AAIC2023審査員

神戸 峰男氏
彫刻家、日本芸術院会員
清流の国ぎふ芸術祭運営委員長
ぎふ美術展企画委員長

パネ
リス
ト

WEB・eメール・FAX・電話 でお申し込みください。
後日、入場整理券を送付します。一度の応募で5名まで申し込み可能です。

申し込み期限 10/18(金)

eメール・FAXで申し込みの場合は、住所・郵便番号、氏名(ふりがな)、電話番号、およびその他参加者氏名(ふりがな)を記入ください。
また、手話通訳者、車いす席希望など配慮を必要とされる方は、その旨記載ください。

申し込みは
フォームより



eメール

下記アドレスに申し込みください
geijutsubunka@ne-planning.com



FAX

日本イベント企画(株)内
芸術文化シンポジウム事務局
0584-71-6130



電話

下記「問合せ先」に
電話で申し込みください
平日9:00-17:00